

野村米国好利回り社債投信

Aコース(為替ヘッジあり 年1回決算型)

2022年6月30日
(月次改訂)

NOMURA
野村アセットマネジメント

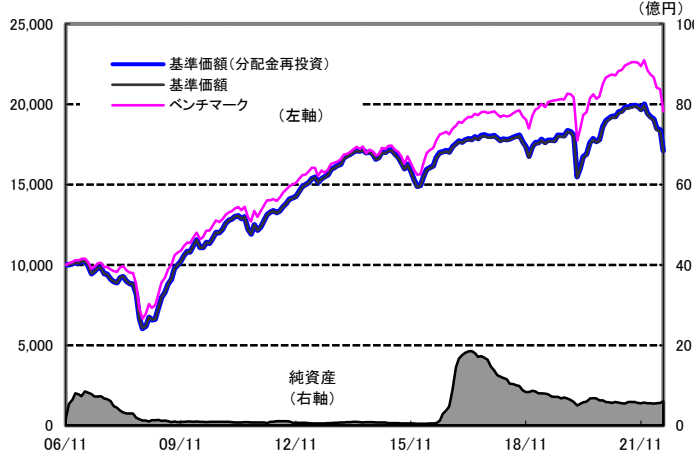
追加型投信/海外/債券

マンスリーレポート

運用実績

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

ベンチマークであるICE BofA US High Yield Constrained Index(円ヘッジベース)は、設定日前日を10,000として指数化しております。

2022年6月30日 現在

基準価額※	17,039 円	
※分配金控除後		
純資産総額	6.0 億円	
騰落率		
期間	ファンド	ベンチマーク
1か月	-6.9%	-6.6%
3か月	-10.3%	-9.8%
6か月	-14.4%	-14.0%
1年	-13.6%	-12.8%
3年	-3.7%	-2.9%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来	71.1%	95.5%
設定来=2006年11月30日以降		

基準価額変動の要因分解

要因項目	直近1か月の騰落
基準価額騰落額(分配金込み)	-1,267 円
為替要因	-1 円
債券要因	-1,240 円
インカム	88 円
キャピタル	-1,328 円
その他(信託報酬等)	-26 円

・上記は、基準日の直近1か月の基準価額(分配金込み)の騰落額を委託会社が一定の条件の基に算出したもので、円貨にて表示しております。

・その他には、ローン等の変動要因が含まれます。

- 信託設定日 2006年11月30日
- 信託期間 2026年12月8日まで
- 決算日 原則 12月8日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2021年12月	5 円
2020年12月	5 円
2019年12月	5 円
2018年12月	5 円
2017年12月	5 円
2016年12月	5 円

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

設定来累計	65 円
-------	------

資産内容

2022年6月30日 現在

資産別配分	
資産	純資産比
債券	92.9%
(内デフォルト債)	0.2%
(内デフォルト債)	1.5%
ローン等	2.7%
その他の資産	4.4%
合計	100.0%

・ローン等は、ローンのほか、優先証券や株式などを含まれます。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当コースが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ポートフォリオ特性値	
平均格付	B
平均クーポン	5.7%
平均直利	8.3%
平均最終利回り	10.3%
平均デュレーション	4.3年

・上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等(現金を含む)の各特性値(クーポンレート、直利、最終利回り、デュレーション)を、その組入比率で加重平均したものです。現地通貨建て。また格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。
・デュレーション:金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。
・平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

格付別配分	
格付	純資産比
BBB以上	2.3%
BB	34.4%
B	40.2%
CCC	16.0%
CC	0.2%
C以下	0.5%
無格付	2.1%
その他の資産	4.4%
合計	100.0%

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の低い方の格付によります。
・無格付には、デフォルト債またはデフォルト債を含みます。

業種別配分	
業種	純資産比
石油・ガス	18.7%
建設	7.7%
レジャー	6.6%
放送	6.5%
ビジネス・サービス	5.9%
その他の業種	50.2%
その他の資産	4.4%
合計	100.0%

実質外貨比率	1.0%
--------	------

・実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

組入上位10銘柄

2022年6月30日 現在

銘柄	業種	純資産比
CARNIVAL CORP	レジャー	1.1%
SPRINT CAPITAL CORP	通信	0.7%
BUFFALO THUNDER DEV AUTH	石油・ガス	0.7%
CCO HLDGS LLC/CAP CORP	放送	0.7%
GLOBAL AIR LEASE CO LTD	金融	0.6%
DCP MIDSTREAM OPERATING	石油・ガス	0.6%
ICAHN ENTERPRISES/FIN	金融	0.6%
SWITCH LTD	通信	0.6%
CQP HOLDCO LP/BIP-V CHIN	石油・ガス	0.5%
FORD MOTOR COMPANY	自動車関連	0.5%
合計		6.7%

組入銘柄数 : 684 銘柄

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当コースが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

野村米国好利回り社債投信

Bコース(為替ヘッジなし 年1回決算型)

2022年6月30日
(月次改訂)

NOMURA
野村アセットマネジメント

追加型投信/海外/債券

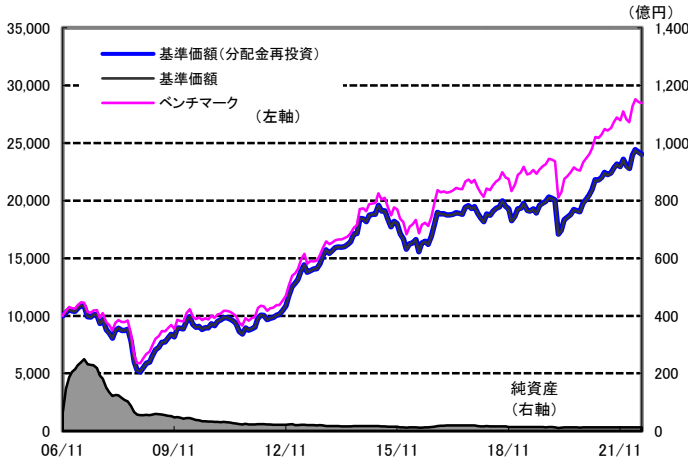
マンスリーレポート

運用実績

2022年6月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

ベンチマークであるICE BofA US High Yield Constrained Index(円換算ベース)は、設定日前日を10,000として指数化しております。

基準価額※ 23,965 円

※分配金控除後

純資産総額 13.1 億円

騰落率

期間	ファンド	ベンチマーク
1か月	-0.7%	-0.3%
3か月	0.4%	1.0%
6か月	1.9%	2.6%
1年	7.1%	8.5%
3年	25.9%	27.2%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 140.3% 184.6%

設定来=2006年11月30日以降

基準価額変動の要因分解

要因項目	直近1か月の騰落
基準価額騰落額(分配金込み)	-169 円
為替要因	1,538 円
債券要因	-1,668 円
インカム	119 円
キャピタル	-1,787 円
その他(信託報酬等)	-39 円

・上記は、基準日の直近1か月の基準価額(分配金込み)の騰落額を委託会社が一定の条件の基に算出したもので、円貨にて表示しております。

・その他には、ローン等の変動要因が含まれます。

- 信託設定日 2006年11月30日
- 信託期間 2026年12月8日まで
- 決算日 原則 12月8日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2021年12月	5 円
2020年12月	5 円
2019年12月	5 円
2018年12月	5 円
2017年12月	5 円
2016年12月	5 円

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

設定来累計 50 円

資産内容

2022年6月30日 現在

資産別配分	
資産	純資産比
債券	91.2%
(内ディストレス債)	0.2%
(内デフォルト債)	1.5%
ローン等	2.7%
その他の資産	6.2%
合計	100.0%

・ローン等は、ローンのほか、優先証券や株式などを含まれます。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当コースが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ポートフォリオ特性値	
平均格付	B
平均クーポン	5.6%
平均直利	8.1%
平均最終利回り	10.2%
平均デュレーション	4.2年

・上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等(現金を含む)の各特性値(クーポンレート、直利、最終利回り、デュレーション)を、その組入比率で加重平均したものです。現地通貨建て。また格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。

・デュレーション:金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。
・平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

格付別配分	
格付	純資産比
BBB以上	2.2%
BB	33.8%
B	39.4%
CCC	15.7%
CC	0.2%
C以下	0.5%
無格付	2.1%
その他の資産	6.2%
合計	100.0%

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の低い方の格付によります。
・無格付には、ディストレス債またはデフォルト債を含みます。

業種別配分	
業種	純資産比
石油・ガス	18.3%
建設	7.6%
レジャー	6.5%
放送	6.4%
ビジネス・サービス	5.8%
その他の業種	49.3%
その他の資産	6.2%
合計	100.0%

実質外貨比率 97.7%

・実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

組入上位10銘柄

2022年6月30日 現在

銘柄	業種	純資産比
CARNIVAL CORP	レジャー	1.1%
SPRINT CAPITAL CORP	通信	0.7%
BUFFALO THUNDER DEV AUTH	石油・ガス	0.7%
CCO HLDGS LLC/CAP CORP	放送	0.6%
GLOBAL AIR LEASE CO LTD	金融	0.6%
DCP MIDSTREAM OPERATING	石油・ガス	0.6%
ICAHN ENTERPRISES/FIN	金融	0.6%
SWITCH LTD	通信	0.6%
CQP HOLDCO LP/BIP-V CHIN	石油・ガス	0.5%
FORD MOTOR COMPANY	自動車関連	0.5%
合計		6.5%

組入銘柄数: 684 銘柄

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当コースが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

野村米国好利回り社債投信

Cコース(為替ヘッジあり 毎月分配型)

2022年6月30日
(月次改訂)

NOMURA
野村アセットマネジメント

追加型投信/海外/債券

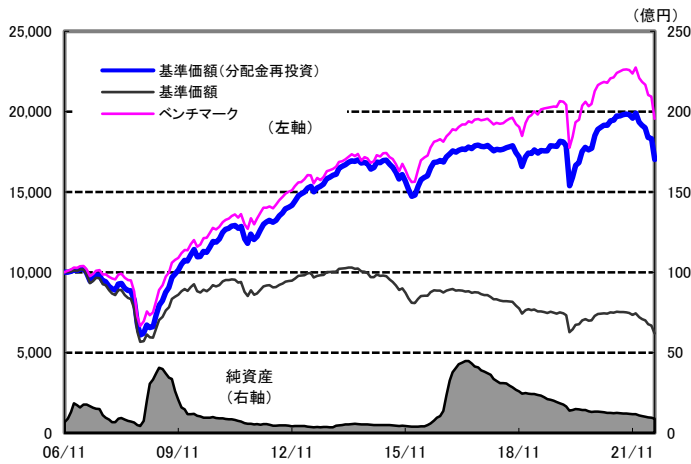
マンスリーレポート

運用実績

2022年6月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日 = 10,000として指数化: 月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

ベンチマークであるICE BofA US High Yield Constrained Index(円ヘッジベース)は、設定日前日を10,000として指数化しております。

基準価額※ 6,196 円

※分配金控除後

純資産総額 8.8 億円

騰落率

期間	ファンド	ベンチマーク
1か月	-7.0%	-6.6%
3か月	-10.3%	-9.8%
6か月	-14.5%	-14.0%
1年	-13.7%	-12.8%
3年	-3.1%	-2.9%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 70.2% 95.5%

設定来 = 2006年11月30日以降

基準価額変動の要因分解

要因項目	直近1か月の騰落
基準価額騰落額(分配金込み)	-466 円
為替要因	-3 円
債券要因	-452 円
インカム	32 円
キャピタル	-484 円
その他(信託報酬等)	-10 円

・上記は、基準日の直近1か月の基準価額(分配金込み)の騰落額を委託会社が一定の条件の基に算出したもので、円貨にて表示しております。

・その他には、ローン等の変動要因が含まれます。

- 信託設定日 2006年11月30日
- 信託期間 2026年12月8日まで
- 決算日 原則、毎月8日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2022年6月	30 円
2022年5月	30 円
2022年4月	30 円
2022年3月	30 円
2022年2月	30 円
2022年1月	30 円

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

設定来累計 8,588 円

資産内容

2022年6月30日 現在

資産別配分	
資産	純資産比
債券	93.0%
(内デフォルト債)	0.2%
(内デフォルト債)	1.5%
ローン等	2.7%
その他の資産	4.3%
合計	100.0%

・ローン等は、ローンのほか、優先証券や株式などを含まれます。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当コースが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ポートフォリオ特性値	
平均格付	B
平均クーポン	5.7%
平均直利	8.3%
平均最終利回り	10.4%
平均デュレーション	4.3年

・上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等(現金を含む)の各特性値(クーポンレート、直利、最終利回り、デュレーション)を、その組入比率で加重平均したものです。現地通貨建て。また格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。
・デュレーション: 金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。
・平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

格付別配分	
格付	純資産比
BBB以上	2.3%
BB	34.4%
B	40.2%
CCC	16.0%
CC	0.2%
C以下	0.5%
無格付	2.1%
その他の資産	4.3%
合計	100.0%

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の低い方の格付によります。
・無格付には、デフォルト債またはデフォルト債を含みます。

業種別配分	
業種	純資産比
石油・ガス	18.7%
建設	7.7%
レジャー	6.6%
放送	6.5%
ビジネス・サービス	5.9%
その他の業種	50.2%
その他の資産	4.3%
合計	100.0%

実質外貨比率 1.0%

・実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

組入上位10銘柄

2022年6月30日 現在

銘柄	業種	純資産比
CARNIVAL CORP	レジャー	1.2%
SPRINT CAPITAL CORP	通信	0.7%
BUFFALO THUNDER DEV AUTH	石油・ガス	0.7%
CCO HLDGS LLC/CAP CORP	放送	0.7%
GLOBAL AIR LEASE CO LTD	金融	0.7%
DCP MIDSTREAM OPERATING	石油・ガス	0.6%
ICAHN ENTERPRISES/FIN	金融	0.6%
SWITCH LTD	通信	0.6%
CQP HOLDCO LP/BIP-V CHIN	石油・ガス	0.5%
FORD MOTOR COMPANY	自動車関連	0.5%
合計		6.7%

組入銘柄数: 684 銘柄

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当コースが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

野村米国好利回り社債投信

Dコース(為替ヘッジなし 毎月分配型)

2022年6月30日
(月次改訂)

NOMURA
野村アセットマネジメント

追加型投信/海外/債券

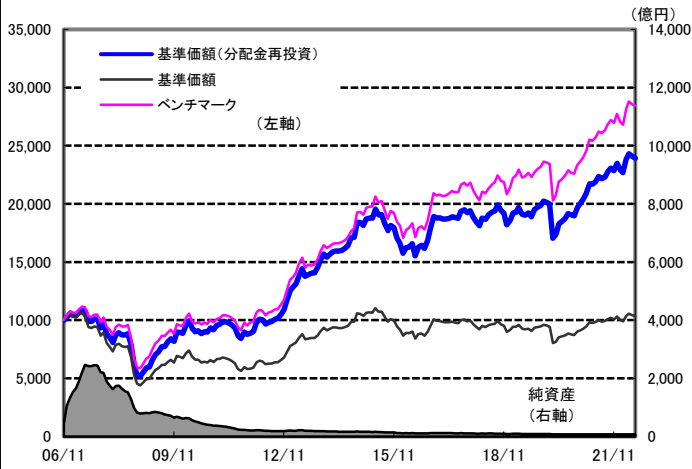
マンスリーレポート

運用実績

2022年6月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

ベンチマークであるICE BofA US High Yield Constrained Index(円換算ベース)は、設定日前日を10,000として指数化しております。

基準価額※

10,333 円

※分配金控除後

純資産総額

74.1 億円

騰落率

期間	ファンド	ベンチマーク
1か月	-0.7%	-0.3%
3か月	0.4%	1.0%
6か月	1.8%	2.6%
1年	7.1%	8.5%
3年	25.7%	27.2%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来

139.3%

184.6%

設定来=2006年11月30日以降

基準価額変動の要因分解

要因項目	直近1か月の騰落
基準価額騰落額(分配金込み)	-73 円
為替要因	662 円
債券要因	-718 円
インカム	51 円
キャピタル	-770 円
その他(信託報酬等)	-17 円

・上記は、基準日の直近1か月の基準価額(分配金込み)の騰落額を委託会社が一定の条件の基に算出したもので、円貨にて表示しております。

・その他には、ローン等の変動要因が含まれます。

- 信託設定日 2006年11月30日
- 信託期間 2026年12月8日まで
- 決算日 原則、毎月8日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2022年6月	30 円
2022年5月	30 円
2022年4月	30 円
2022年3月	30 円
2022年2月	30 円
2022年1月	30 円

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

設定来累計 6,764 円

資産内容

2022年6月30日 現在

資産別配分	
資産	純資産比
債券	91.3%
(内デビッドレス債)	0.2%
(内デフォルト債)	1.5%
ローン等	2.7%
その他の資産	6.0%
合計	100.0%

・ローン等は、ローンのほか、優先証券や株式などを含まれます。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当コースが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ポートフォリオ特性値	
平均格付	B
平均クーポン	5.6%
平均直利	8.1%
平均最終利回り	10.2%
平均デュレーション	4.2年

・上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等(現金を含む)の各特性値(クーポンレート、直利、最終利回り、デュレーション)を、その組入比率で加重平均したものです。現地通貨建て。また格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。
・デュレーション:金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。
・平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

格付別配分	
格付	純資産比
BBB以上	2.2%
BB	33.8%
B	39.5%
CCC	15.7%
CC	0.2%
C以下	0.5%
無格付	2.1%
その他の資産	6.0%
合計	100.0%

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の低い方の格付によります。
・無格付には、デビッドレス債またはデフォルト債を含みます。

業種別配分	
業種	純資産比
石油・ガス	18.3%
建設	7.6%
レジャー	6.5%
放送	6.4%
ビジネス・サービス	5.8%
その他の業種	49.3%
その他の資産	6.0%
合計	100.0%

実質外貨比率 97.8%

・実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

組入上位10銘柄

2022年6月30日 現在

銘柄	業種	純資産比
CARNIVAL CORP	レジャー	1.1%
SPRINT CAPITAL CORP	通信	0.7%
BUFFALO THUNDER DEV AUTH	石油・ガス	0.7%
CCO HLDGS LLC/CAP CORP	放送	0.6%
GLOBAL AIR LEASE CO LTD	金融	0.6%
DGP MIDSTREAM OPERATING	石油・ガス	0.6%
ICAHN ENTERPRISES/FIN	金融	0.6%
SWITCH LTD	通信	0.6%
CQP HOLDCO LP/BIP-V CHIN	石油・ガス	0.5%
FORD MOTOR COMPANY	自動車関連	0.5%
合計		6.5%

組入銘柄数: 684 銘柄

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当コースが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、変動のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

野村米国好利回り社債投信

Aコース(為替ヘッジあり 年1回決算型) / Bコース(為替ヘッジなし 年1回決算型)
Cコース(為替ヘッジあり 毎月分配型) / Dコース(為替ヘッジなし 毎月分配型)

2022年6月30日
(月次改訂)

NOMURA
野村アセットマネジメント

追加型投信 / 海外 / 債券

マンスリーレポート

ファンドの特色

- 年1回分配を行なう「Aコース」(為替ヘッジあり)および「Bコース」(為替ヘッジなし)と、毎月分配を行なう「Cコース」(為替ヘッジあり)および「Dコース」(為替ヘッジなし)の4つの異なるコースがあります。
※ ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
- 米国ドル建の高利回り事業債(ハイ・イールド・ボンド)を実質的な主要投資対象^{※1}とし、デストレス債^{※2}やデフォルト債券^{※3}などを含め幅広い低格付証券に投資を行います。^{※4}
※1 「実質的な主要投資対象」とは、「野村米国好利回り社債投信 マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
※2 デストレス債とは、発行企業の財務状況や信用力の悪化により著しく価格が低下した債券をいいます。
※3 デフォルトとは一般的には債券の利払いおよび元本返済の不履行、もしくは遅延などをいい、このような状態にある債券をデフォルト債券といえます。
※4 投資対象には、米国以外の企業の発行する債券等が含まれます。なお、LPS(リミテッド・パートナーシップ)の発行する債務証券または債務証券、転換社債型新株予約権付社債、優先証券またはこれに類する証券、コーポレート・ローン、新株予約権などの権利が付与された債券、債務証券の保有に関連して発行される株式などへ投資を行なう場合があります。
- 主として米国ドル建のハイ・イールド・ボンドに投資し、高水準のインカムゲインと中長期的な値上がり益の獲得によるトータル・リターン^{※5}の追求を目指し、積極的な運用を行います。
- 投資対象の徹底したクレジット分析^{※6}と分散投資により、ポートフォリオ全体のリスクの低減を目指します。
※投資対象のクレジット分析にあたっては、ESGの視点も加味します。
- ファンドは、以下をベンチマークとします。

Aコース / Cコース	ICE BofA US High Yield Constrained Index(円ヘッジベース) 「ICE BofA US High Yield Constrained Index(円ヘッジベース)」は、ICE BofA US High Yield Constrained Index(USDベース)をもとに、委託会社が独自にヘッジコストを考慮して円換算したものです。
Bコース / Dコース	ICE BofA US High Yield Constrained Index(円換算ベース) 「ICE BofA US High Yield Constrained Index(円換算ベース)」は、ICE BofA US High Yield Constrained Index(USDベース)をもとに、委託会社が独自に円換算したものです。

※ ICE BofA US High Yield Constrained Index SM[®]は、ICE Data Indices, LLCまたはその関連会社(「ICEデータ」)の登録商標です。当ファンドは、ICEデータによって支持・推奨・販売・販売促進されるものではなく、また、ICEデータは当ファンドに関して一切の責任を負いません。

- ファンドは「野村米国好利回り社債投信 マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- マザーファンドの運用にあたっては、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネージメント・インク(NGRAM社)に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

各ファンドは、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2026年12月8日まで(2006年11月30日設定)
＜Aコース / Bコース＞
年1回の決算時(原則12月8日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
＜Cコース / Dコース＞
年12回の決算時(原則、毎月8日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
● ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
● ご購入単位 1万円以上10単位(当初元本100=1円)
または1万円以上1円単位
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
● ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
● スイッチング 「Aコース」「Bコース」間、「Cコース」「Dコース」間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
● お申込不可日 販売会社の営業日であっても、お申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込ができません。
・ニューヨーク証券取引所・ニューヨークの銀行
● 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合には、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税込3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 ＜スイッチング＞ 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.78%(税込年1.60%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入資産等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等にに応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104(フリーダイヤル)
＜受付時間＞ 営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

＜委託会社＞ 野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図を行なう者]

＜受託会社＞ 野村信託銀行株式会社

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。で、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

野村米国好利回り社債投信

Aコース(為替ヘッジあり 年1回決算型) / Bコース(為替ヘッジなし 年1回決算型)
Cコース(為替ヘッジあり 毎月分配型) / Dコース(為替ヘッジなし 毎月分配型)

2022年7月
(月次改訂)

NOMURA
野村アセットマネジメント

追加型投信 / 海外 / 債券

マンスリーレポート

先月の投資環境

○米国株式市場は月間では下落となりました。上旬、5月のISM製造業景況指数や雇用統計が市場予想を上回ったことで景気の先行きに対する楽観的な見方が広がった一方、足元のエネルギー価格などの高騰による世界経済への悪影響が懸念され、横ばい圏での推移となりました。中旬は、5月の米国CPI(消費者物価指数)上昇率が4月と比較して加速したことで、FRB(米連邦準備制度理事会)が金融引き締めを強化するとの警戒感が高まり、下落しました。下旬は、FRBのストレステスト(健全性審査)で主要金融機関の健全性が確認されたことや、ミシガン大学が発表した1年先と5-10年先におけるインフレ見通しの確報値が速報値から下方修正されたこと、足元の下落による割安感の高まりなどから上昇したものの、月間では下落となりました。

○米国10年国債利回りは、月間で上昇(価格は下落)となりました。上旬は5月の米雇用統計にて、非農業部門雇用者数の増加幅が予想を上回り、FRBが積極的な金融引き締めを続けるとの見方が市場で広がったことを背景に米国債の利回りは上昇しました。その後も、5月の米CPI上昇率が市場予想を上回る伸びとなったことを受けて利回りは上昇しました。中旬以降はFOMC(米連邦公開市場委員会)が0.75%の利上げを実施したことで、金融引き締めによる景気後退懸念の高まりを背景に、利回りは低下(価格は上昇)基調で推移しましたが、月間では利回りは上昇となりました。

○米国ハイ・イールド債券市場は、月間で値下がりとなりました。上旬、5月の米雇用統計では、雇用の拡大と労働参加率の上昇が確認されたことなどから、米金利は上昇基調で推移しました。その後も、5月の米CPI上昇率が市場予想を上回る伸びとなり、米金利の上昇が一段と加速しました。中旬は、FOMCが0.75%の利上げを実施したことで積極的な金融引き締めが米景気を冷やすとの警戒感が台頭し、下旬にかけては米金利の上昇の勢いは一服したものの、クレジットスプレッド(利回り格差)は拡大し、月間では値下がりとなりました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

マザーファンドについてコメントします。

○先月も引き続き組み入れを高位で維持し、月末時点の組入比率は94.7%となりました。組み入れは、ハイ・イールド債券を中心に、ローンなどにも幅広く投資を行ない、また、既発債、新発債共に積極的に投資を行ないました。

○月末の銘柄数は684銘柄となりました。また、ディストレス債*の組入比率は0.2%(18銘柄)、デフォルト債**は1.5%(16銘柄)となりました。

○業種別配分は、石油・ガス、建設、レジャーなどを組み入れ上位としました。格付別配分は、B格を中心に、BB格やCCC格など幅広く組み入れを行ないました。

*ディストレス債: 発行企業の財務状況や信用力の悪化により著しく価格が下落した債券をディストレス債といいます。

**デフォルト債: デフォルトとは一般的には債券の利払いおよび元本返済の不履行、もしくは遅延などをいい、このような状態にある債券をデフォルト債といいます。

今後の運用方針

(2022年6月30日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○米国ハイ・イールド債券市場は、米国の軟調な経済指標や米国のインフレ率の上昇、FRBの金融引き締めへの積極的な姿勢などを背景に、不安定な推移となっています。一方で、ハイ・イールド債を発行している企業は、エネルギー設備投資の増加や、旅行需要の回復、サプライチェーン(供給網)の混乱が徐々に落ち着いてきたことなどの好材料に支えられています。引き続き、FRBによる金融政策やバイデン米政権による財政政策を注視しながら、銘柄を選定して運用を行ないます。

○当ファンドでは個別発行体の信用力を調査・分析するボトムアップ・アプローチに基づいて運用を行なっていきます。また、ハイ・イールド債券が持つ価格下落リスクをできる限り回避しながら、高水準のインカム(利息)収入やキャピタル・ゲイン(値上がり益)の獲得を目指す方針です。

○個別銘柄の選択にはより一層慎重に対応していきませんが、今後もキャッシュフロー(現金収支)が安定的な企業や良好な収益見通しが期待できる企業を中心に投資を行なう方針です。

組み入れに当たっては、ディストレス債やデフォルト債を含むハイ・イールド債券を中心に、ローンや優先証券など幅広く投資を行なっていきます。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様にご負担頂きます。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

分配金に関する留意点

● 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。

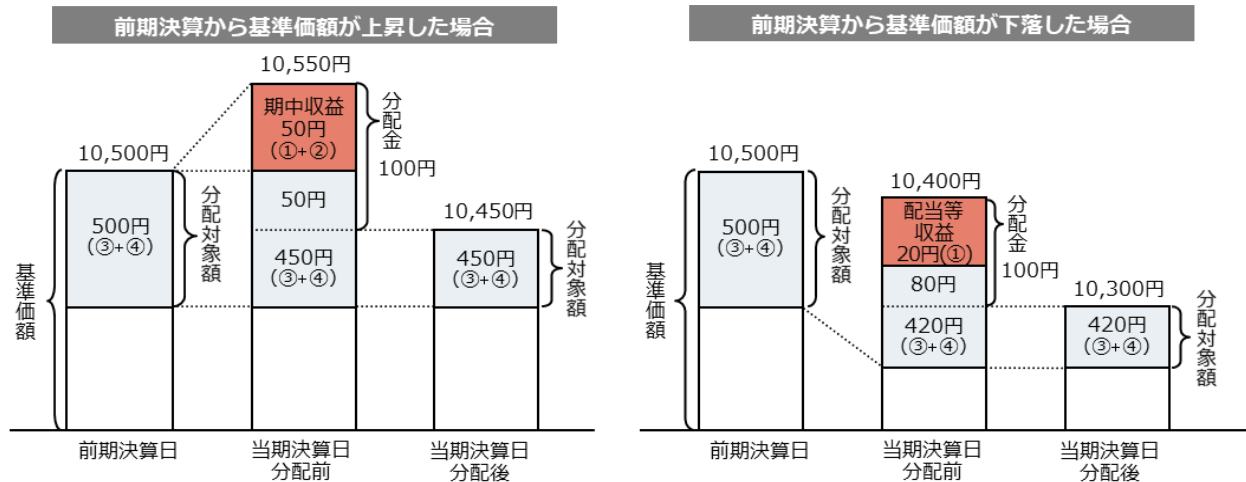


● ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

・ 計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

※ 分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

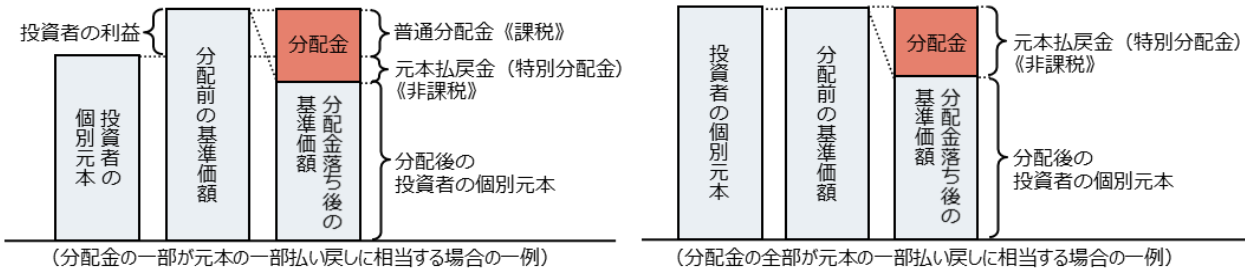
分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。



● 投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

普通分配金	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。 (普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。)
元本払戻金(特別分配金)	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、下回る部分の分配金の額が元本払戻金(特別分配金)となります。

◆ 投資者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。



分配金に関する留意点に記載の図はイメージ図であり、全ての状況について説明したものではありません。また、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆ 設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

野村米国好利回り社債投信

Aコース／Bコース／Cコース／Dコース

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。